SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

三浦綾子文学の韓国における翻訳受容の現況と分析

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-04-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 南, 富鎭, 金, 水敬 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024898

三浦綾子文学の韓国における翻訳受容の現況と分析

南　富鎭・金　水敬

1．先行研究についての考察

三浦綾子文学が登場したのは、1964年朝日新聞社が主催した「1,000万円懸賞応募」に『氷点』が当選したことによる。『氷点』は出版間もなく日本で一大ベストセラーとなり、「氷点現象」ともいえる多くの話題と注目を受けた。日本でのこうした話題と人気に相俟って、作品はたちまち世界各国語で翻訳された。

韓国で『氷点』が翻訳刊行されたのは、連載同時期である1965年である。連載と並行し、あるいは連載終了とほぼ同時に、春秋閣、上智社、韓國政經社という三つの出版社から『氷点』が翻訳刊行された。それ以降、三浦綾子の殆どの作品は韓国語で競争的に翻訳され、『氷点』当選50周年を過ぎた現在（2017年）に至るまで、なお重複的な翻訳出版が続いている。

三浦綾子文学の韓国語翻訳状況に関するおおまかな傾向は、Yoon, Sang－In（尹相仁）・Kim, Keun－Sung（김근성）・Lee, Han－Jung（이한정）・Kang, Woo－Won－Young（강우원용）による大著『日本文学翻訳60年・現状と分析1945－2005』で網羅的に示されている。この著書は1945年から2005年まで韓国で翻訳出版された日本文学作品の全体像を示し、傾向を分類し、分析したものである。日本文学の韓国語翻訳状況の総体が作家別、時代別に分かりやすく分類され、韓国に翻訳された日本文学の全体像を理解するにはたいへん便利である。本論の重要な先行研究にもなっている。

しかし、尹相仁（Yoon, Sang－In）らの先行研究は、それが壮大で総体的な作業であるがゆえに、個別においてはいくつかの問題点がある。つまり、膨大な作家を網羅したため、個々の作家の具体的な調査においては多くの遺漏があり、正確性を欠いている。それらの原因は、尹らの調査研究が図書館等のデータベース検索を基調にして集めたことと関係している。つまり、翻訳書籍の実在確認が疎かになっているため、データベースと実態においては乖離が発生し

ている。作業の性質上、致し方ないかもしれないが、本論ではそれらを修正し、補い、さらに時代を最近にまで伸ばし、現時点における三浦綾子文学の受容の全体像を示したいと思っている。そのため、可能な限り実在の翻訳本の確認に努めた。複雑に変更されている訳本の題名にその原典を特定する作業にも力を注いだ。さらに全集や選集、障碍者用の点字本・録音翻訳なども調査した。それらの調査を土台に、三浦綾子文学の翻訳状況の特徴と意義、傾向についても独自の分析を行う。

2．翻訳目録の作成方法

以下、翻訳目録は次のような方法で作成した。

①翻訳目録表では、原題／翻訳表題を先に示し、翻訳本の出版社、種類、翻訳者、刊行年度を並べた。敷衍説明が必要な場合は＊で記した。

②翻訳作品のジャンルの分類においては、翻訳作品の実際の内容で判断した。三浦綾子の体験手記のような作品は、「自伝」と分類した。

③翻訳書の実物が確認できたものについては、出版年月日まで詳細に記した。実物が確認できなかった場合、また毀損などによって不明な場合は出版年度のみを記した。

④人名の漢字表記は翻訳本での表記に従った。翻訳本の題目も同様である。漢字表記が不明の場合はハングル名を記したが、漢字表記が推測できる場合は漢字表記にした。

⑤原作の題名が不明な場合は空白のままにした。

3．翻訳目録（1965－2017）

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
氷点／日本文學史上初有의一千萬圓 懸賞當選作品 氷**点**・上卷 ＊小説家鄭飛石の推薦序文あり	春秋閣	小説	孫玟	1965.6.10 初版 1965.6.25 ２版 1965.7.5 ３版 1965.7.15 ４版 1966.4.15 19版

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
氷点／朝日新聞千萬圓當選小說 氷點〔完譯版〕	韓國政經社	小説	李時哲	1965.11.19
氷点／日本朝日新聞千萬圓當選小説 氷点	上智社	小説	河小苑	1965
氷点／氷点 上卷・下卷 ＊上巻のみ確認	春秋閣	小説	孫玟	1965.11
ひつじが丘／原罪	兒童文化社	小説	조정식	1966
ひつじが丘／언덕 위의 양떼들	文耕社	小説	南九	1966.7.16
ひつじが丘／양치는 언덕	春秋閣	小説	李容澧	1966
ひつじが丘／一千萬円懸賞當選作『氷点』作家의 第2의 問題作：羊치는 언덕 ＊手記「愛の記録－太陽は再び没せず」「井戸」収録。	鐘文閣	小説	李英朝	1966.12.5
ひつじが丘／原罪	旺文社	小説	玄相杰	1966
ひつじが丘／羊치는언덕	不二出版社	小説	玄相杰	1966
ひつじが丘／好評의 長篇小說 원죄 羊치는 언덕의 옛 故鄉 ＊申相玉映畵監督の推薦序文、鄭飛石小説家の推薦序文あり	韓一出版社	小説	姜慧妍	1966.12.1 初版 1966.12.5 再版
ひつじが丘／原罪	不二出版社	小説	河小苑	1966
ひつじが丘 上・下／朝日新聞一千萬圓當選（氷点）作家第2野心力作 사랑이 흘러간 곳 上・下	新亜出版社	小説	安東民	1966.12.20
積木の箱／운명의 길	上智社	小説	朴在姬	1967
道ありき／길은 여기에 愛情篇	韓國讀書文化院	小説	李寧姬	1967
塩狩峠／原點	上智社	小説	南紋	1967.7.20
積木の箱／運命	韓一出版社	小説	姜慧妍	1967
積木の箱／반항아（反抗児）	豪文社	小説	孫玟	1967
氷点／빙점	松仁出版社	小説	權雄達	1967
ひつじが丘／양치는언덕	不二出版社	小説	玄相杰	1967.3.15
道ありき／長編手記 告白	弘益出版社	随筆	朱蓮姬	1967.7.15
氷点／完譯版 氷點 上・下（合本）	不二出版社	小説	玄相杰	1967.5.20

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
積木の箱／一千萬圓 懸賞當選女流作家의 最新作！日本「朝日新聞」連載小説 집짓기 箱子 ＊申相玉映画監督の推薦の序文あり	三五出版社	小説	姜慧妍	1967.7.30
氷点／長篇小説 무화과（無花果）	青春出版社	小説	朴泰文	1968
愛すること信ずること／ 사랑한다는것　믿는다는것	三友出版社	随筆	朴泰文	1968
積木の箱／運命（下巻）	韓一出版社	小説	姜慧妍	1968.6.10
積木の箱／運命	太陽出版社	小説	朴在姫	1968
ひつじが丘／원죄	不二出版社	小説	玄相杰	1970
続氷点／속빙점	人文出版社	小説	이서종	1970
続氷点／속빙점	春秋閣	小説	유정희	1971
ひつじが丘／원죄	平和出版社	小説	玄相杰	1971
積木の箱／운명	世宗閣	小説	姜慧妍	1971
道ありき／길은 있었네	雪友社	随筆	李鍾桓	1971
ひつじが丘／原罪	平和出版社	小説	玄相杰	1971.12.20
氷点／氷點	무등출판사	小説	李時哲	1972
道ありき／길은 여기에	신조사	随筆	李寧姫	1972
自我の構図／旅情	平和文化社	小説	洪民性	1972.10.10
氷点／빙점	青山文化社	小説	洪民性	1972
道ありき／여기에 길은 있다	五倫出版社	随筆	玄相杰	1972
光あるうちに／빛속에서	대일출판사	随筆	玄相杰	1972
氷点／빙점	旺文社	小説	玄相杰	1972
帰りこぬ風／돌아오지 않는 바람	카톨릭	小説	黄必蓮	1972
ひつじが丘／原罪	豊成閣	小説	孫玟	1972
塩狩峠／애정의 언덕길	旺文社	小説	申洙澈	1973
藍色の便箋／그대는 보랏빛	仁光	随筆	李雪影	1973.5.25
積木の箱／運命	平和文化社	小説	申洙澈	1973
ひつじが丘／양치는 언덕	世宗閣	小説	姜慧妍	1973
孤独のとなり／고독에도 손길이	雪友社	随筆	金昭映	1973

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
ひつじが丘／長篇小說 原罪 下卷 ＊上卷未確認	世宗角	小説	姜慧妍	1973
ひつじが丘／原罪	雪友社	小説	김병로	1973
道ありき／길은 여기에	東昌	随筆	姜慧妍	1973
光あるうちに／빛이 있는 속에서	韓國讀書文化院	随筆	李寧姬	1973
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	金允玉	1973.6.20
塩狩峠／설령（雪嶺）	雪友社	小説	김병로	1973
生命に刻まれし愛のかたみ／ 생명에 새겨진 사랑의 흔적	雪友社	書簡	金允玉	1973
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	김병로	1973
氷点／빙점	雪友社	小説	金允玉	1973.6.20
帰りこぬ風／겨울장미	光學社	小説	李英淑	1974
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黃必蓮	1974
自我の構図／돌아오지 않는목마	光學社	小説	李英淑	1974
愛すること信ずること／ 사랑한다는 것 믿는다는 것	光學社	随筆	李英淑	1974
ひつじが丘／양치는 언덕	弘益出版社	小説	朴泰文	1974
氷点／빙점	英一文化社	小説	姜慧妍	1974
生きること思うこと／ 살며 생각하며 ＊雪友特選4	雪友社	随筆	金允玉	1974.12.20
氷点／빙점	主婦生活社	小説	鄭成煥	1975
ひつじが丘／양치는 언덕	서동사	小説	未詳	1975
氷点／빙점	豊盛閣	小説	孫玟	1975
太陽はいつも雲の上に／태양은 언제나　구름 위에 ＊共著：三浦光世	카톨릭출판사	随筆	구혜영	1975
積木の箱／운명	東根文化社	小説	玄相杰	1975
塩狩峠／순애보（殉愛譜）	東根文化社	小説	姜慧妍	1975
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 빛과 사랑을 찾아서	鍾路書籍	小説	白承仁	1975
塩狩峠／殉愛譜	文學堂	小説	成雄	1975
ひつじが丘／양치는 언덕	雪友社	小説	金允玉	1975

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
ひつじが丘／人間의 愛像	平和文化社	小説	석향	1975
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 빛과 사랑을 찾아서	雪友社	随筆	金裕坤	1975.5.20
生きること思うこと／살며 생각하며	平和文化社	随筆	석향	1975
道ありき：結婚篇／길은 여기에 결혼편	韓國讀書文化院	随筆	李寧姬	1975
道ありき：青春篇／告白	泉門閣	随筆	金容駿	1976
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	金允玉	1976.10.10
自我の構図／日本朝日新聞社一阡万円当選作家三浦綾子代表全集（全６巻収録作品） １．돌지않는 木馬	光學社	小説	李英淑	1976.11.15
死の彼方までも／日本朝日新聞社一阡万円当選作家三浦綾子代表全集（全６巻収録作品） ２．그대는 보라빛	光學社	小説	李英淑	1976.11.15
残像／日本朝日新聞社一阡万円当選作家三浦綾子代表全集（全６巻収録作品） ３．어떤 가을날	光學社	小説	李英淑	1976.11.15
残像／日本朝日新聞社一阡万円当選作家三浦綾子代表全集（全６巻収録作品） ４．사랑이라는 아픔	光學社	小説	李英淑	1976.11.15
道ありき／日本朝日新聞社一阡万円当選作家三浦綾子代表全集（全６巻収録作品） ５．길은 여기에	光學社	小説	李英淑	1976.11.15
帰りこぬ風／日本朝日新聞社一阡万円当選作家三浦綾子代表全集（全６巻収録作品） ６．겨울薔薇	光學社	小説	李英淑	1976.11.15
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 빛과 사랑을 찾아서	雪友社	随筆	金素影	1976
道ありき／길은 여기에	弘益出版社	随筆	朱蓮姬	1976
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	1976
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	1976.11.1
ひつじが丘／양치는 언덕	雪友社	小説	金昭映	1976.10.10
天北原野／대하소설：영광의 大城	日鍾閣	小説	姜慧妍	1977.6.25

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 좁은 문을 향하여	人文出版社	随筆	李雪影	1977
氷点／빙점	人文出版社	小説	李雪影	1977
天北原野／榮光의 大成〈全２巻〉	日鐘閣	小説	姜慧妍	1977.6.25
果て遠き丘／요즈음 처녀들	太宗出版社	随筆	金甲洙	1978
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 좁은 문을 향하여	三民社	随筆	金燦國	1978
生きること思うこと／살며 생각하며	學一出版社	随筆	姜慧妍	1978
生きること思うこと／살며 생각하며	太宗出版社	随筆	金甲洙	1978
氷点／빙점 상・하	신문출판사	小説	권웅달	1978
塩狩峠／이사랑 그누가	汎友社	小説	陳雄基	1978.10.15
塩狩峠／이사랑 그누가	好樂社	小説	李君嫺	1978.10.15
この土の器をも／이 질그릇에도	好樂社	随筆	李君嫺	1978.10.15
ひつじが丘／원죄	汎友社	小説	陳雄基	1978
天の梯子／하늘의 사다리	雪友社	随筆	崔雲傑	1979.9.9
旧約聖書入門／빛과 사랑을 찾아서	雪友社	随筆	金裕坤	1979.9.1
天の梯子／하늘의 사다리	雪友社	随筆	崔雲傑	1979.9.9
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 마음의 양식을 구하는 사람에게	大韓예수敎長老會 總會敎部	随筆	李再信	1979
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 참빛과 사랑을 찾아서	大韓예수敎長老會 總會敎部	随筆	李恩信	1979
光あるうちに／빛이 있는 곳에서	雪友社	随筆	金允玉	1979.9
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 마음의 양식을 구하는 사람에게	汎友社	随筆	陳雄基	1979
光あるうちに／빛이 있는 동안에	汎友社	随筆	蘇淵	1979.11.11
ひつじが丘／양치는 언덕	보이스사	小説	白承仁	1979
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신약성서입문：좁은 문을 향하여	青字閣	随筆	崔明淳	1979
光あるうちに／빛이 있는 동안에	三民社	随筆	金燦國	1979
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 좁은문을 향하여	三民社	随筆	金燦國	1979

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
塩狩峠／사랑의 씨를 뿌린 고개	汎友社	小説	蘇蓮	1979
氷点／빙점	東西文化院	小説	朴在英	1979
氷点／빙점	友林堂	小説	한점수	1979
氷点／원죄	三民社	小説	김진영	1979
三浦綾子代表全集６巻／삼포능자대표전집 ６권 自我の構図／돌지않는 목마 死の彼方までも／그대는 보라빛 残像／어떤 가을날：＊『残像』の前半部 残像／사랑이라는 아픔：『残像の後半部』 道ありき／길은 여기에 帰りこぬ風／겨울장미	藝書閣	小説	李英淑	1978 １刷 1979.8.15 ２刷
氷点／원죄	三民社	小説	김진영	1979
雪のアルバム／춤추는 겨울나비	日鍾閣	小説	조정식	1979
雪のアルバム／춤추는 겨울나비	三民社	小説	李凡烈	1979
塩狩峠／三浦綾子長篇小説 사랑의 종점	문화서적 주부생활사	小説	權純萬	1980
ひつじが丘／양치는 언덕	學一出版社	小説	姜慧妍	1980
裁きの家／문 열린 집	四方社	小説	池芳薫	1980.2.22
氷点／빙점	人文出版社	小説	李雪影	1980
ひつじが丘／원죄	세신문화사	小説	조정식	1980
天の梯子／이렇게 기도하라	志成文化社	随筆	朴天一	1980
孤独のとなり／고독의 이웃	汎潮社	随筆	朱榮鎭	1980
石の森／고독한 돌의 숲	祐成出版社	小説	임종한	1980
生きること思うこと／ 그 중에서 제일은 사랑이다	學一出版社	随筆	정성호	1980
？／기나긴 下午	新女苑	小説	김경수	1980
石の森／돌비 내리던 날	學一出版社	随筆	池芳薫	1980
果て遠き丘／사랑하고 미워하고	裕林堂	小説	서향	1980
？／아낌없이 사랑하리	豊林出版社	随筆	남정숙	1980
生命に刻まれし愛のかたみ／ 죽음이 남긴 사랑의 흔적	汎友社	書簡	崔鉉	1980

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
天北原野／천북원야	祐成出版社	小説	임종한	1980
泥流地帯／청춘의 늪	청음출판사	小説	권순만	1980
孤独のとなり／고독에도 손길이	雪友社	随筆	김병로	1980.5.20
旧約聖書入門－光と愛を求めて／참길을 묻는 그대에게：빛과 사랑을 찾아서 ＊『女性中央』10月号付録	中央日報社	随筆	김상형	1980
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 빛과 사랑을 찾아서	三民社	随筆	金燦國	1980
道ありき／길은 여기에	雪友社	随筆	李鍾桓	1980
帰りこぬ風／어느 간호원의 사랑의 고백수기：사랑과 미움의 세월	世新文化社	小説	申洙澈	1980
愛すること信ずること／사랑하며 믿으며	雪友社	随筆	崔雲傑	1981.2.28
氷点／빙점	문화서적	小説	鄭成煥	1981
氷点／빙점	汎友社	小説	崔鉉	1981
裁きの家／문열린 집	四方社	小説	池芳薫	1981
石ころのうた／조약돌의 나래	대왕문화사	小説	한은림	1981
帰りこぬ風／모래성일기	조형출판사	小説	오동석	1981
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 생명의 샘터	雪友社	随筆	金裕坤	1981.4.30
果て遠き丘／불새	三文社	小説	李汎烈	1981
人間の原点／사람으로 태어나서	世光公社	随筆	全基定	1981
果て遠き丘／살아있는 목마	조형출판사	小説	池芳薫	1981
果て遠き丘／얄미운 여자	한섬사	小説	진웅기	1981
果て遠き丘／誘惑의 나날	四方社	小説	未詳	1981
ひつじが丘／理由없는反抗	성광출판사	小説	未詳	1981
氷点／빙점	人文出版社	小説	李雪影	1981
？／族閥13－16（족벌）	五谷文化院	小説	孔寅順	1981
海嶺／해령	을지출판사	小説	조기호	1981

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
미우라아야꼬대표선집三浦綾子代表選集 残像／어떤 가을날（「残像」の前半、後半は사랑이라는 아픔） 帰りこぬ風／겨울장미 死の彼方までも（＊「赤い帽子」「足跡の消えた女」「逃亡」を収録）／그대는 보랏빛	韓國讀書文化院	小説	李英淑	1981
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	1981
氷点／빙점81 ＊映画脚本	東亞振興映画公社	シナリオ	尹三六	1981
天の梯子／이렇게 기도하라	志成文化社	随筆	박천일	1982
果て遠き丘／살아있는 木馬	造形出版社	小説	이평길	1982
生きること思うこと／ 그중에 제일은 사랑이라	世新文化社	随筆	呉東錫	1982
光あるうちに／빛이 있는 동안에	浮林出版社	小説	李天國	1982
氷点／빙점	오곡문화원	小説	공연순	1982
塩狩峠／설령	雪友社	小説	김병로	1982.9.30
ひつじが丘／양치는 언덕	효종出版社	小説	임성희	1982
ひつじが丘／양치는 언덕	청개구리	小説	이평길	1982
ひつじが丘／양치는 언덕	浮林出版社	小説	이천국	1982
氷点／원죄	도산문화사	小説	맹사빈	1982
光あるうちに／빛이 있는 동안에	카톨릭출판사	随筆	黃必蓮	1982
海嶺／순례자의 꿈：영혼아 너 잠깨어라	승미문화사	随筆	정현식	1982
帰りこぬ風／겨울 소녀	효종出版社	小説	임성희	1982
光あるうちに／내게 강 같은 평화	승미문화사	随筆	홍성중	1982
光あるうちに／내게 강 같은 평화	떡갈나무	随筆	홍성중	1982.10.15
石の森／꿈많은 여고졸업반	효종出版社	小説	임성희	1982
愛すること信ずること／사랑하며 믿으며	汎友社	随筆	陳雄基	1982
積木の箱／인생 上・下巻	도산문화사	小説	맹사빈	1982
光あるうちに／내게 강같은 평화	대우출판공사	随筆	李寧姬	1982
海嶺／순례자의꿈：영혼아 너 잠깨어라	승미문화사	随筆	정현식	1982
光あるうちに／내게 강같은 평화	떡갈나무	随筆	홍성중	1982.10.15

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
光あるうちに／내게 강같은 평화	대우출판공사	随筆	李寧姬	1982
青い棘／푸른가시	현대문예사	小説	지방훈	1982
この土の器をも／행복한 여자	世光公社	随筆	오동순	1982
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／좁은 문을 향하여	三民社	随筆	金燦國	1982
旧約聖書入門－光と愛を求めて／에세이성서：성경을 쉽게 이해할수 있는 책	大明社	随筆	金文洙	1982
積木の箱／운명	陶山文化社	小説	맹사빈	1982
氷点／빙점	陶山文化社	小説	맹사빈	1982
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／신약성서입문서：생명의샘터	浮林出版社	随筆	李天國	1982
この土の器をも／이 질그릇에도	浮林出版社	随筆	李天國	1982
この土の器をも／사랑은 두려워하지 않는다	大宇出版公社	随筆	張智河	1982
この土の器をも／사랑의 信者가 告白하는 사랑학 다큐먼트 三浦綾子自傳小說：서른일곱 女子의 사랑사랑사랑	新女苑	随筆	張伯逸	1982.6.25
旧約聖書入門－光と愛を求めて／구약성서입문：빛과 사랑을 찾아서	浮林出版社	随筆	李天國	1982
生きること思うこと／나의 신앙잡화 살며 생각하며	雪友社	随筆	金允玉	1983
氷点／빙점	青翰文化社	小説	박기동	1983
ひつじが丘／양치는 언덕	青翰文化社	小説	조순복	1983
ひつじが丘／양치는 언덕	汎友社	小説	崔鉉	1983.6
ひつじが丘／양치는 언덕	進陽書館	小説	김종현	1983.5.25
ひつじが丘／양치는 언덕	學一出版	小説	최정선	1983
ひつじが丘／양치는 언덕	大明社	小説	池芳薰	1983
ひつじが丘／양치는 언덕	大王社	小説	박성희	1983
道ありき／길은 여기에	浮林文化社	随筆	李天國	1983
道ありき／길은 있었네	浮林文化社	随筆	蘇淵	1983.6.15
光あるうちに／빛이 있는 동안에	浮林文化社	随筆	朴璣東	1983

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
生きること思うこと／살며 생각하며	浮林文化社	随筆	朴璣東	1983
水なき雲／물기없는구름	聖眼堂	小説	鄭成浩	1983
天の梯子／『빙점』의 작가미우라아야코의 여섯편의 사랑이야기「사랑과 진실」他５篇	麒麟苑	随筆	吳東淳	1983.4.15
水なき雲／물기 없는 구름	聖眼堂	小説	鄭成浩	1983
死の彼方までも／불새	효종出版社	小説	이범열	1983.2
泉への招待／샘터로의 초대	研知社	随筆	崔鉉	1983
青棘／現代의 사랑을 추구하는 野心作：마지막 포옹	효종出版社	小説	朴文鎬	1983
永遠한 女子의 테마 빙점（全７巻） 氷点／氷點（１・２・３・４） 積木の箱／運命（５・６） ひつじが丘／原罪：（７）	良友堂	小説	孟思彬	1983.9.1
氷点／빙점４ ＊韓国点字図書館特殊利用対象	青木社	小説	河小苑	1983
水なき雲／여자의 城	한마음사	小説	李希求	1983.8.1
氷点／빙점	豊林出版社	小説	李英朝	1983
果て遠き丘／살아있는 목마	大明社	小説	池芳薫	1983
泉への招待／샘물로의 초대	冠岳	随筆	池芳薫	1983
泉への招待／샘터로의 초대	요한출판사	随筆	蘇淵	1983.12.18
泉への招待／빛과 생명의 샘을 찾아서	한마음사	随筆	李希求	1983
天の梯子／하늘의 사닥다리	汎友社	随筆	金永斗	1983
氷点 上・下／빙점 상・하	浮林文化社	小説	朴璣東	1983.12.25
？／남성市場	新女苑	小説	張伯逸	1983
この土の器をも／이 질그릇에도	浮林文化社	随筆	조순복	1983.6.15
千利休とその妻たち／세아내	伽倻	小説	金旭	1983
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	1983.1.102版１刷 1976.11.1初版
この土の器をも／이 질그릇에도	浮林文化社	自伝	이천국	1983

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
三浦綾子代表選集 残像／어떤 가을날 帰りこぬ風／겨울장미 死の彼方までも／그대는 보랏빛 ＊〈「赤い帽子」「足跡の消えた女」「逃亡」を収録〉	韓國出版文化公社	小説	李英淑	1983
天の梯子／하늘의 사닥다리	汎友社	随筆	蔡澄振	1983.6.30
孤独のとなり／고독의 이웃	汎潮社	随筆	朱榮鎭	1983
海嶺／어둠속 자식들	大一書館	小説	金旭	1983
泉への招待／마르지 않는 잎새	浮林文化社	随筆	蘇淵	1983
あさっての風／죽음보다 강한 것 ＊三浦綾子隨想集	農林出版社	随筆	金旭	1984
生きること思うこと／살며 생각하며	浮林文化社	随筆	朴璣東	1984
続氷点／속빙점	浮林文化社	小説	朴璣東	1984.9.20
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 참길을 묻는 그대에게：빛과 사랑을 찾아서	中央日報	随筆	김상형	1984
生きること信ずること／사랑하며 믿으며	汎友社	随筆	陳雄基	1984.9.20
藍色の便箋／여인의 사연들	自由文學	随筆	朴璣東	1983.12.1
青い棘／푸른가시	汎友社	小説	金永斗	1984.2.25
氷点／빙점	豊林出版社	小説	李英朝	1984
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 길이요 생명이니	浮林文化社	随筆	趙順福	1984.1.10
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 알기 쉽게 해설한 신약입문	青翰文化社	随筆	趙順福	1984.8.1
続氷点／속 빙점	青翰文化社	小説	朴璣東	1984
帰りこぬ風／돌아오지 않는 바람	内外新書	小説	金東史	1984
自我の構図／ 파리에서 날아온 유서	文成堂	小説	權五卿	1984

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
女性３代傑作選集５－７／ 死の彼方までも＊収録短編 赤い帽子／빨간모자 足跡の消えた女／종적을 감춘여인 逃亡／탈주 死の彼方までも／그대는 보랏빛　5 自我の構図／돌지 않는 목마 6 帰りこぬ風／겨울장미 7	아카데미	小説	李英淑	1984
あさっての風／ 두드리라 그러면 열릴 것이요	豊林出版社	随筆	金旭	1984
水なき雲／물없는 구름	金箔出版社	小説	金甲洙	1984
あさっての風／바람은 불어도	內外新書	随筆	金東史	1984
泉への招待／마르지않는 잎새	青翰文化社	随筆	蘇蓮	1984.9.1
藍色の便箋／부부이야기	浮林出版社	随筆	趙順福	1984.9.20
藍色の便箋／ 사랑받는 女性이 되기 위하여	金文堂出版	随筆	金旭	1984
藍色の便箋／순백의 사랑	金箔出版社	随筆	金甲洙	1984
この土の器をも／사랑하고 사랑하며	浮林文化社	随筆	박기동 조순복	1984.9.20
この土の器をも／ 사랑은 두려워 하지　않는다	크리스찬비젼사	随筆	여승현	1984
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 길이요 생명이니	浮林出版社	随筆	趙順福	1984.1.10
ひつじが丘／양치는 언덕	浮林出版社	随筆	趙順福	1984.1.10
藍色の便箋／여인의 사연들	青翰文化社	随筆	朴璣東	1984
藍色の便箋／女人의 事録들	浮林出版社	随筆	朴璣東	1984
泥流地帯／이류지대	祐成出版社	小説	趙基浩	1984
命ある限り／ 이생명 사랑과 믿음과 소망으로	明知社	随筆	元鍾翼	1984
北国日記／파란 하늘일기	祐成出版社	日記	편집부	1984
孤独のとなり／후회없는 삶을 위하여	高麗書院	随筆	李希求	1984
愛の鬼才／사랑의 천재	한국문서선교회	小説	崔鉉	1984
塩狩峠／그대 곁에 영원히	백록	小説	金允玉	1984

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
泉への招待／샘터로 초대합니다	雪友社	随筆	金裕坤	1984
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	1984.12.30
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黄必蓮	1984
道ありき／길은 여기에	민들레	随筆	吳在仁	1984
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	1984
旧約聖書－光と愛を求めて／ 빛과 생명의 샘을 찾아서	한마음사	随筆	李希求	1984
泉への招待／고난이 의미하는것	研知社	随筆	崔鉉	1984
ひつじが丘／양치는 언덕	青木社	小説	崔明淳	1985
三浦綾子代表選集女性３代傑作選集 藍色の便箋／그대는 보라빛５ 自我の構図／돌지않는 목마６ 帰りこぬ風／겨울장미７	韓國出版文化公社	小説	李英淑	1983 1984
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 마음의 양식을 구하는 이들에게	志成文化社	随筆	崔正善	1984
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黄必蓮	1985
藍色の便箋／보랏빛 사연들	雪友社	小説	金裕坤	1985
氷点／불멸의 베스트셀러 氷點	學園社	小説	鄭成煥	1985
この土の器をも／반석	釜山先永社	随筆	金秉漢	1985
泉への招待／三浦綾子에세이集：그 빛속 의 작은 생명－죽음을 바라보며 신을 기다리며	學園社	随筆	洪建植	1985.11.20
裁きの家／아무도 없는 집	禮讚社	小説	趙基浩	1985
愛すること信ずること／ 사랑과 믿음이 있는 생활인의 지혜	高麗書院	随筆	廉智順	1985
帰りこぬ風／青春의 하얀 침실	한국출판문화공사	小説	李英淑	1982.1985
道ありき／길은 있었네	青翰文化社	随筆	소연 박기동	1985
塩狩峠／순백의 사랑	金箔出版社	小説	金甲洙	1985
自我の構図／三浦綾子미스테리長篇 약속의 잔	文成堂	小説	權五卿	1985.9.20
積木の箱／운명５－６	汎友社	小説	陳雄基	1985.11.20

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
三浦綾子代表選集全７巻 氷点／氷點１－４ 積木の箱／運命５－６ ひつじが丘／原罪７	良友堂	小説	孟思彬	1985.1.10
ひつじが丘／양치는 언덕	學院社	小説	洪健植	1985
石の森／내 영혼에 영롱한 무지개가	한국문서선교회	小説	崔鉉	1986.8.25
聖書に見る人間の罪－暗黒に光を求めて／ 빛을 찾아서 성서에 나타난 인간의 죄	青翰文化社	随筆	張炅龍	1986.6
続氷点／續빙점	풍림출판사	小説	李英朝	1986
氷点／빙점	日光社	小説	李聖秀	1986
泉への招待／네 영혼의　빈자리에	한마음사	随筆	盧尹成	1986
ナナカマドの街から／망각의 세월들	금문당출판사	随筆	金旭	1986
海嶺／바다의 침묵	乙支出版社	小説	趙基浩	1986
北国日記／북국일기	雪友社	小説	金允玉	1986
嵐吹く時も／애증의 섬	藝一文學社	小説	崔鉉	1986
鳴らずのバイオリン／ 울리지 않는 바이올린	自由文學社	随筆	朴泰文	1986
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	1986
天の梯子／하늘의 사닥다리	汎友社	随筆	金永斗	1986
？／오늘의 세계주니어 문제작 시리즈 파란 이별의 눈물	東光出版社	小説	玄在淑	1986 1987.4.1
自我の構図／돌지 않는 목마	한국출판문화공사	小説	李英淑	1986
ひつじが丘／양치는 언덕	學園社	小説	洪健植	1985
自我の構図／三浦綾子미스테리長篇 약속의 잔	文成堂	小説	權五卿	1985.9.20
果て遠き丘／三浦綾子장편소설 춤추는 木馬	民友出版	小説	陳雄基	1986.11.10
海嶺上・下／홍성사 믿음의 글들 해령 상・하	弘聖社	小説	金惠康	1986.10.31
嵐吹く時も／폭풍이 불더라도	청한문화사	小説	鄭成浩	1986

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
泉への招待／생명의 샘터	雪友社	随筆	金裕坤	1986.8.30 1版3刷 1981.4.30 初版
三浦綾子長篇文学選集（全6巻） 道ありき／길은 여기에 1 帰りこぬ風／겨울장미 2 残像／어떤가을날 3 死の彼方までも／그대는 보라빛 4 残像／사랑이라는 아픔 5 自我の構図／돌지 않는 목마 6	三星文化社	 随筆 小説 小説 小説 小説 小説	李英淑	1986.4.30
氷点／빙점	人文出版社	小説	李雪影	1986
続氷点／續빙점	人文出版社	小説	李雪影	1986.1
海嶺／雪花 ＊月刊雑誌「女性自身」の付録	學園社	小説	오애영 홍건식	1987.2
愛すること信ずること／ 사랑하며 믿으며	汎友社	随筆	陳雄基	1987
氷点／빙점 상・하	한국문서선교회	小説	윤문섭	1987
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 알기 쉽게 해설한 신약입문	青翰文化社	随筆	趙順福	1986 1987.10.10
氷点／세계명작100선47 빙점	일신서적공사	小説	姜泰鼎	1987
氷点／세계명작100선48 속빙점	일신서적공사	小説	李葉成	1987
ひつじが丘／양치는 언덕	일신서적	小説	姜泰鼎	1987.12
雪のアルバム／눈의 앨범	요단출판사	小説	안병걸	1987.4.15
裁きの家／모래성 쌓는 아픔	先永社	小説	金秉漢	1987.6.1
裁きの家／모래 위에 지은집	세종문화사	小説	편집부	1987
海嶺／시련의 파도를 넘어	汎漢出版	小説	이병림	1987
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 성경을 더욱 재미있게 성서에세이	青木書籍	随筆	정필태	1987
愛すること信ずること／ 사랑과 진실의 人生論	雪友社	随筆	金裕坤	1987
泥流地帯／눈물과 감동의 대서사시！ 하늘은 끝내 침묵을 지키는 것인가	祐成出版社	小説	金景順	1987.12.7
海嶺／순례자의 노래	乙支出版	小説	趙基浩	1987

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
？／잠언화집：긴 침묵 그다음에	동서문화문고	随筆	최상림	1987
光あるうちに／빛이 있는 동안에	汎友社	随筆	蘇淵	1987
毒麦の季／喪失	學園社	短篇	홍건식 오애영	1987.2.1
雪のアルバム／미우라아야꼬신작장편소설 雪花	學園社	小説	홍건식 오애영	1987.2.1
氷点 上・下／빙점　1,2	汎友社	小説	崔鉉	1987
聖書に見る人間の罪／ 성서에 나타난 人間의 罪：빛을 찾아서	青翰文化社	随筆	張炅龍	1987.1.1
生きること思うこと／살아간다는 것은	東泉社	随筆	백우선	1987
帰りこぬ風／겨울장미	아카데미	小説	李英淑	1987
氷点／빙점	學園社	小説	鄭成煥	1987
白き冬日／하얀 겨울	文志社	小説	임종삼	1987
天の梯子／기도해 보시지 않을래요?	弘盛社	随筆	金甲洙	1987 1988.11
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／ 내일을 위해서 내일을 기다리며	文志社	随筆	임종삼	1988.12
あなたへの囁き－愛の名言集／ 生活隨想集三浦綾子 평범한 생활에 삶의 진실을 느끼며	高麗書院	随筆	李希求	1987.11.30 1988
光あるうちに／그래도 이 말만은	삼한출판사	随筆	未詳	1988
愛すること信ずること／미우라아야코 에세이집：울리지 않는 바이올린 ＊収録：思いやりということ	自由文學社	随筆	朴泰文	1988.12.1
忘れえぬ言葉－私の赤い手帖から／ 나의 빨간 수첩에서	自由文學社	随筆	박영	1988.8.20
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黃必蓮	1988
泉への招待／三浦綾子에세이 은총과 사랑에의 초대	크리스챤비전하우스	随筆	李相吉	1988 1989.10.1
氷点上・下／빙점 상・하	汎友社	小説	崔鉉	1988
愛すること信ずること／사랑하며 믿으며	汎友社	随筆	陳雄基	1988.1.10
孤独のとなり／三浦綾子대표에세이 고독한 영혼이 사랑으로	春園文化社	随筆	權五榮	1988.12.5

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
雪のアルバム／참사랑의 빛을 주소서	두풍	小説	韓雨定	1988.10.20
雪のアルバム／三浦綾子長篇小説 사랑과 갈등	汎林出版社	小説	池芳薫	1988.8.10
愛すること信ずること／ 사랑의 길 믿음의 길	오상출판사	随筆	李順姸	1988
道ありき／죽음의 벼랑 死線을 넘나들기 수십번 신앙으로 버틴한 신앙인의 신앙고백서：기도하며 생각하며 배우며	東亞文藝	随筆	池芳薫	1988
海嶺／아 그리운 조국이여	을지출판사	小説	趙基浩	1988
雪のアルバム／三浦綾子신작장편소설 천사의 눈물	白象	小説	홍구희	1988
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 三浦綾子 신앙에세이 신약편	研志社	随筆	李景美	1989
ひつじが丘／양치는 언덕	青木社	小説	崔明順	1989.5
生きること思うこと／ 고뇌하는 사랑을 위하여	두풍	随筆	趙基浩	1989
生きること思うこと／살며 생각하며	雪友社	小説	金允玉	1989.4.30 1974.12.20 初版
氷点／빙점	良友堂	小説	孟思彬	1989
小さな郵便車／희망의편지：작은우편	대한기독교서회	随筆	金允玉	1989.4.20
北国日記／「빙점」의 작가 미우라아야꼬가 최근에 공개한 하늘빛 일기 (1982년 5 월～1984년 7 월)：하늘빛 사랑 ＊原作『北国日記』(『主婦の友』1982年 1月～1984年7月に発表) 1984年5月14日発行	祐成出版社	日記	金景順	1989.3.17
聖書に見る人間の罪／ 빛을 향해 걸어갈 때	소학사	随筆	정효영	1989
生きること思うこと／ 후회없는 사랑을 위하여	高麗書院	随筆	李希求	1989
光あるうちに／빛이 있는 동안에	지문사	随筆	이시준	1989
愛すること信ずること／三浦綾子隨筆集 사랑한다는 것과 믿는다는 것	배재서관	随筆	李希求	1989

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
生きること思うこと／평범한 생활에 삶의 진실을 느끼며	高麗書院	随筆	李希求	1989
孤独のとなり／삶에 대하여：신도 인간도 스스로 거절한 고독 속에서	東泉社	随筆	백우선	1989
氷点／빙점	汎友社	小説	崔鉉	1989.10.30
聖書に見る人間の罪／믿음과 사랑으로 채색된 미우라아야코의 신앙에세이 빛 가운데로 걸어가면	聖賢出版	随筆	李先基	1989.12.25
聖書に見る人間の罪／성서에서 본 인간의 죄	大韓出版	随筆	李再信	1989.12.20
ひつじが丘／成長期小説：언덕 위의 집	図書出版 준	小説	윤현	1989.11.1
孤独のとなり／삶에 대하여	東泉社	随筆	백우선	1989
自我の構図／처마 밑의 작은새	熊村	小説	元種益	1989.9.30
光あるうちに／내게 강 같은 평화	떡갈나무	随筆	홍성중	1989
聖書に見る人間の罪／빛 가운데로 걸어가면	성현출판사	随筆	이선기	1989
女性３代傑作選集 일본 아사히신문에 당선되어 일본문단을 격동시킨 미우라아야꼬의 회심의 力作 自我の構図／돌지않는 목마 藍色の便箋／그대는 보라빛 帰りこぬ風／겨울장미	삼원출판사	小説	李英淑	1989.9.30
道ありき／길은 여기에	한일출판사	随筆	孟思彬	1989
光あるうちに／내게 강 같은 평화	青年社	随筆	정현식	1989
生きること思うこと／이시대 사랑의 순수 메시지８：우리 마음이 허전한 이유는	현대문화센타	随筆	박영창	1989 1990
氷点／빙점 続氷点／속빙점	青木出版社	小説	이정예	1989
？／사랑이 머무는 곳에	남성출판사	随筆	趙基浩	1989.5.1
道ありき／길은여기에	한일출판사	随筆	孟思彬	1990
氷点／長篇小説 빙점	豊林出版社	小説	李英淑	1990
氷点／빙점	人文出版社	小説	李雪影	1990
氷点上・下／범우사르비아문고 빙점상・하	汎友社	小説	崔鉉	1990.3.15

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
ナナカマドの街から／네 영혼의 빈자리에	한마음사	随筆	盧尹成	1990.1.1
続氷点／속빙점	汎友社	小説	崔鉉	1990
氷点／빙점	한국매일출판사	小説	孟思彬	1990
ひつじが丘／한권의 책：양치는 언덕	學園社	小説	李尹基	1990
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 길이요 생명이니	대한기독교서회	随筆	李再信	1990.6.20
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	鎭雄基	1990.5.10
道ありき／길은 여기에	한국중앙문화공사	随筆	孟思彬	1990
続氷点／青木精選世界文學40속빙점 氷点／青木精選 世界文學 39빙점	青木社	小説	이정예	1990.3.30 1990.4.10
道ありき／길은 여기에	한국매일출판사	随筆	孟思彬	1990
自我の構図／ 그녀의 슬픈 과거가 우리 를울린다	그대로	小説	김수경	1990.10.25
それでも明日は来る／ 그래도 내일은 온다	대한기독교서회	随筆	金允玉	1990.4.10
天の梯子／이렇게 기도하라	성지출판사	随筆	朴天一	1990
泉への招待／三浦綾子에세이 만남을 위하여	그대로	随筆	이수지	1990.4.20
道ありき／길은 여기에	雪友社	随筆	李種桓	1990
夕あり朝あり／ 저녁이 있고 아침이 있고	青林出版社	随筆	金壽童 沈昭子	1990.7.31
あのポプラの上が空／ 저 포플러나무 위가 하늘	대한기독교서회	小説	金允玉	1990.3.30
続氷点／세계명작 100선 48속 빙점	일신서적공사	小説	李葉成	1990.10.26
天の梯子／이렇게 기도하라	지성문화사	随筆	朴天一	1990.7
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 구약성서	研志社	随筆	李景美	1990
泉への招待／지금은 나그네 되어도 사 랑의 바다에가리	伽藍文學社	随筆	池英蘭	1990
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 성경이란 무엇인가	두풍	随筆	趙基浩	1990

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
この土の器をも／ 사랑은 두려워 하지 않는다	남성출판사	随筆	여승현	1990.2.1
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 평신도를 신약성서입문：마음의 양식을 구하는 이들에게	大韓基督教書會	随筆	李再信	1990.6.30
聖書に見る人間の罪／ 성서에서 본 인간의 죄	그대로	随筆	이수지	1990
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 평신도를 위한 구약성서입문：참빛과 사랑을 찾아서	大韓基督教書會	随筆	李恩信	1990
聖書に見る人間の罪－暗黒に光を求めて／ 빛 가운데로 걸어가면	성현출판사	随筆	李先基	1990
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 믿음 긴 순종	대한기독교서회	随筆	李恩信	1990.6.20
小さな郵便車／희망의 편지：작은 우편차	대한기독교서회	随筆	趙基浩	1990
生きること思うこと／살며 생각하며	雪友社	小説	金允玉	1990.12.16 ２版１刷 1974.12.20 初版
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 길이요 생명이니	대한기독교서회	随筆	李再信	1990
聖書に見る人間の罪／ 성서에서 본 인간의 죄	대한기독교서회	随筆	李再信	1990
夕あり朝あり／미우라아야코전작장편소설 저녁이 있고 아침이 있고	青林出版社	小説	金壽童 沈昭子	1990.7.1 1991
光あるうちに／빛속에서	카톨릭	随筆	황필연	1990
光あるうちに／빛이 있을 동안에	삼일서적	随筆	김명구	1991.11
泉への招待／생명의 샘터	雪友社	随筆	金裕坤	1991.9.20 ２版１刷 1981.4.30 初版
氷点／빙점	韓國每日出版社	小説	孟思彬	1991
自我の構図／돌지 않는 목마	高麗出版社	小説	李英淑	1991
雪のアルバム／사랑이라는 아픔	高麗出版社	小説	李英淑	1991

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
積木の箱／운명 上・下	白象出版社	小説	姜英淑	1991.10.15
塩狩峠／철길에 핀꽃	대한기독교서회	小説	임종석	1991
生かされてある日々／ 삶을 주시는 하나님	대한기독교서회	随筆	李再信	1991.3.10
氷点　1・2／빙점 1・2	소담출판사	小説	김정욱	1991.11.20
帰りこぬ風／돌아오지 않는 바람	미래투자연구소	小説	鶴見 由美	1991.7.31
氷点1・2／빙점1・2	소담출판사	小説	김정욱	1991.11.20
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 구약성경이야기 新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신약성경이야기	志成文化社	随筆	崔正善	1991
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	金允玉	1991
この土の器をも／이 질그릇에도	汎友社	随筆	陳雄基	1991
ひつじが丘／양치는 언덕	青木出版社	小説	崔明淳	1991
愛すること信ずること／사랑하며 믿으며	雪友社	随筆	崔雲傑	1991.11 1
愛すること信ずること／ 사랑으로 정복하는 아름다운 삶	오상출판사	随筆	李順任	1991.9.1 1992
この土の器をも／사랑은 성내지 아니하며	밝은책	随筆	李景玉	1991.11.20
？／세상을 아름답게 하는 것은 사랑입니다	백만인출판사	随筆	李英恩	1991.2.5
愛すること信ずること／사랑하며 믿으며	汎友社	随筆	陳雄基	1991
青い棘／아들의 연인	文志社	小説	홍석연	1991
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신약입문：생명의 샘터	雪友社	随筆	金允玉	1991.9.1
光あるうちに／빛이 있는 곳에서	雪友社	随筆	金允玉	1991
小さな郵便車／ 삶의 진실을 나르는 작은 우편차	高麗書院	随筆	權慈仁	1991.10.15
愛すること信ずること／ 사랑한다는 것과 믿는다는 것	培材書館	随筆	李希求	1991
天の梯子／하늘의 사다리	대한기독교서회	随筆	李再信	1991.1

原題／翻訳表題　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
天の梯子／하늘의 사다리	雪友社	随筆	崔雲傑	1991.6.11 2版1刷 1979.9.9 初版
光あるうちに／빛이 있는 동안에	지성문화사	随筆	崔奉植	1992
光あるうちに／빛이 있는 동안에	汎友社	随筆	蘇淵	1992.9.30
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黄必蓮	1992
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 신앙에세이 구약편 新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신앙에세이 신약편	東河出版社	随筆	李景美	1992.11.1
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 마음의 양식을 구하는 이에게	보이스사	随筆	白承仁	1992.12
氷点／빙점	일신서적공사	小説	姜泰鼎	1992
道ありき／길은 여기에	青和	随筆	孟思彬	1992
続氷点／속빙점	일신서적공사	小説	李奠成	1992
氷点／빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1992.8.1
続氷点／속빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1992.9.10
道ありき／길은 여기에	지성문화사	随筆	崔奉植	1992
自我の構図／불꽃	藝家	小説	박서연	1992.6.20
塩狩峠／그리스도와 함께 넘는 언덕	한국문서선교회	小説	崔鉉	1992.6
この土の器をも／이 질그릇에도	지성문화사	随筆	崔奉植	1992.5.4
泉への招待／샘으로의 초대	대한기독교서회	随筆	李再信	1992.8
広き迷路／최초의 미스테리장편 사랑의 이름으로	동흥문화사	小説	權五卿	1992.9.1
生きること思うこと／ 진실로 우리에게 소중한 것	두풍	随筆	趙基浩	1992.8.5
道ありき／길은 여기에	汎友社	自伝	陳雄基	1992
風はいずこより／바람은 어디서부터	대한기독교서회	随筆	李再信	1992.1.10
氷点／빙점 続氷点／속빙점	青木出版社	小説	이정예	1992
ひつじが丘／설우특선 양치는 언덕	雪友社	小説	金昭暎	1992.3.1 2版

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
岩に立つ－ある棟梁の半生／반생을 돌아본 어느 도목수의 간증：주님을 아십니까？	世代	小説	고대유	1992. 10. 1
氷点／빙점	汎友社	小説	崔鉉	1992. 1993
塩狩峠／그대 곁에 영원히	백록	小説	金允玉	1993
孤独のとなり／고독에도 손길이	雪友社	随筆	김병로	1992 1993. 12. 30 ２版２刷 1980. 5. 20 初版
愛すること信ずること／설우특선 사랑하며 믿으며	雪友社	随筆	崔雲傑	1993
北国日記／일한대역문고중급12 미우라아야코의 북국일기	다락원	小説	다락원 編集部	1993. 3. 1
青い棘／연인의 그림자（恋人の影）	아라출판사	小説	이장구	1993 1994. 1. 15
われ弱ければ－矢嶋楫子伝／여성선각자 야지마가지코전：나는 비록 약하나	大韓基督教書會	小説	李再信	1993. 12. 31
道ありき／원어로 읽는 명작 시리즈 日韓對譯：길은 있었네	文化思想社	随筆	李相麒	1993. 6. 10
氷点／빙점	한얼	小説	강인수	1993
道ありき／길은 여기에	홍신문화사	随筆	정성국	1993
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／ 아무리 긴 터널이라도 끝은 보인다	하우스	随筆	李恩信	1993
ひつじが丘／BESTSELLER WORLDBOOK 43 양치는 언덕	소담출판사	小説	서치언	1993. 10. 20
白き冬日／三浦綾子生活隨想集 평범한 생활에　삶의 진실을 느끼며	高麗書院	随筆	李希求	1993. 2. 25
海嶺／낮과 밤이 없는 불새	恩光社	小説	이정식	1993. 10. 20
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	김윤옥	1993
生きること思うこと／신앙수필 살며 생각하며	대한기독교서회	随筆	李再信	1993. 12. 30
母／어머니	대한기독교서회	小説	金允玉	1993. 9. 30
道ありき／길은 여기에	홍신문화사	随筆	정성국	1993. 8. 31

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
？／미우라아야꼬의 수채화 같은 사랑 만남 그리고 이별 이야기：이별그리기	알짬	小説	李英姫	1993.5.10 初版 1993.5.18 2版
氷点 上・下／빙점 1・2	學院社	小説	鄭成煥	1993
心のある家／마음이 있는 집	대한기독교서회	随筆	李再信	1993.6.20
氷点 上・下／빙점 상・하	인문출판사	小説	金正旭	1993
道ありき／길은 여기에	雪友社	随筆	李種桓	1993
藍色の便箋／보랏빛 사연들	雪友社	随筆	金裕坤	1993.7
銃口 上・下／총구（상권）（하권）	한국장로교출판사	小説	李再信	1994.11.5
ひつじが丘／양치는 언덕	青木社	小説	崔明淳	1994
三浦綾子信仰文学全集（全10冊）／ 미우라아야코 신앙문학전집（전10권） 1．道ありき／길은 여기에 2．われ弱ければ－矢嶋楫子伝／ 나는 비록 약하나 3．風はいずこより／바람은 어디서부터 4．生きること思うこと／살며 생각하며 5．生かされてある日々／ 삶을 주시는 하나님 6．泉への招待／샘으로의 초대 7．聖書に見る人間の罪／성서에서 본 인간의 죄 8．新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신약성서입문 9．この土の器をも／이 질그릇에도 10．天の梯子／하늘의 사다리	大韓基督教書會	 随筆 随筆 随筆 随筆 日記 随筆 随筆 随筆 随筆 随筆	李再信	1994.4.1
道ありき／길은 여기에	홍신문화사	小説	정성국	1994
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 설우특선 9 빛과 사랑을 찾아서	雪友社	小説	金裕坤	1994.7.6 2版
光あるうちに／빛이 있는 곳에서	雪友社	随筆	金允玉	1994.
水なき雲／『빙점』의작가미우라 아야꼬의 최신작：창밖에 하얀 노을이	文志社	小説	홍석연	1994.10.30
続氷点／홍신엘리트북스22 속빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1994.2.10
積木の箱／운명	白象	小説	姜英淑	1994

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
氷点／빙점 続氷点／속빙점	三星企劃	小説	이용현	1994.5 1994
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	1994.9.10
心のある家／마음이 있는 집	대한기독교서회	小説	李再信	1994.
石の森／사랑 오해 용서를 배경으로 한 한폭의 수채화 같은 소설!!： 밤에 우는 새	恩光社	小説	金旭	1994.10.30
岩に立つ－ある棟梁の半生／ 목숨보다 소중한 그 무엇	바울출판사	小説	고대유	1994.7.22
？／미우라아야꼬에세이 빈뜰에서 조용한 기도를	伽藍文學社	随筆	지영란	1994.12.1
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 평신도를 위한 신약성서 입문 마음의 양식을 구하는 이들에게	大韓基督教書會	随筆	李再信	1994
？／하나가 아닌둘이기에 삶의 진실을 더해 갑니다	본미디어	随筆	李希求	1994
氷点 上・下／빙점１・２	學園社	小説	鄭成桓	1994.2.20
この土の器をも／이 질그릇에도	대한기독교서회	随筆	李再信	1994
道ありき／길은 여기에	대한기독교서회	随筆	李再信	1994.9.10
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	金允玉	1994
塩狩峠／그대 곁에 영원히（전２권）	백록	小説	金允玉	1994.1.10
青い棘／미우라아야코감성장편소설 연인의 그림자	아라출판사	小説	이장구	1994.1.15
続氷点 上・下／속빙점 상・하 ＊録音図書2984	汎友社	小説	崔鉉	1994
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黄必蓮	1994
孤独のとなり／ 사랑으로 용서하는 주옥의인생 기록 용서하고 잊어버리고	본미디어	随筆	李希求	1994.1.20
道ありき／세계베스트셀러전집14 길은 여기에	聖都文化社	随筆	孟思彬	1994 1995
氷点／빙점　＊電子book	六文社	小説	이용현	1995.5.5

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
氷点上下／ 한권의 명작19 빙점 1 한권의 명작20 빙점 2	문화광장	小説	오희민	1994. 1995. 1. 1 1995. 3. 1 1996
帰りこぬ風／미우라아야코장편소설 겨울장미 문제소설 겨울 숲은 잠들지 않는다	文志社	小説	홍석연	1995. 1. 30
続氷点／속빙점	六文社	小説	이용현	1995. 8
ひつじが丘／양치는 언덕	學永社	小説	김영철	1995. 9
？／日本文學作品번역집	東明社	随筆	李相麒	1995. 6. 30
？／미우라아야꼬 고백자서전 당신을 알고부터 그렇게 행복할 수 없어요	三韓出版社	随筆	김종석	1995. 10. 25
続氷点／속빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1995
帰りこぬ風／겨울 숲은 잠들지 않는다	文志社	小説	홍석연	1995
北国日記／북국일기	다락원출판사	小説	다락원	1995
氷点／빙점	太學社	小説	오희민	1995
氷点 上・下／빙점 1・2	문화광장	小説	오희민	1996
氷点／빙점	일신서적출판사	小説	姜泰鼎	1995
氷点／빙점	太學社	小説	오희민	1995
氷点 上・下／빙점 1・2	文化廣場	小説	오희민	1996
氷点／빙점	대일출판사	小説	유한준	1996. 1. 10
氷点／빙점 상・하	소담출판사	小説	김정욱	1996. 2. 10
青い棘／연인의 그림자	아라출판사	小説	이장구	1996
氷点／빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1996
帰りこぬ風／여자는 결코 약하지　않다 다만 약해 보일 뿐이다	본미디어	小説	權慈仁	1996. 6. 25
氷点／빙점	六文社	小説	이용현	1996
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黃必蓮	1996
生きること思うこと／미우라아야꼬 에세이：진실로 우리에게 소중한 것	두풍	随筆	趙基浩	1996
ひつじが丘／GreenBooks－12 양치는 언덕	青木出版社	小説	崔明淳	1997. 8. 31

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／ 아무리 긴 터널이라도 끝은 보인다	韓国長老教出版社	随筆	李恩信	1997
銃口 上／총구 上巻（１－６） ＊点字本	韓国視覚障碍人福祉点字図書館	小説	李再信	1997
天の梯子／하늘의 사다리	大韓基督教書會	随筆	李再信	1997
生きること思うこと／살며 생각하며	범우사르비아	随筆	陳雄基	1997.1.30
？／日本文学作品번역집	東明社	随筆	李相麒	1997
氷点／빙점	대일출판사	小説	유한준	1997
続氷点／속빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1997
夕あり朝あり／ 저녁이 있고 아침이 있고１－10　＊点字本	釜山点字図書館	小説	金壽童 沈昭子	1997
銃口 上・下／총구	韓国長老教出版	小説	李再信	1997.7.30
氷点 上・下／빙점 상・하	韓国長老教出版	小説	李再信	1997.8.20
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 성경이란 무엇인가	두풍	随筆	趙基浩	1997
塩狩峠／설령（雪嶺）	雪友社	小説	김병로	1997.11.14
氷点 上・下／빙점 상・하	大韓基督教書會	小説	李再信	1997.8.30
愛の鬼才／영혼속에 스며드는 사랑의 언어들：사랑의 천재	韓國文書宣教會	小説	崔鉉	1998.4
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	1998.12.31
光あるうちに／빛이 있는 곳에서	雪友社	随筆	金允玉	1998.12.15
水なき雲／여자의 城	한마음사	小説	李希求	1998
銃口 下／총구 하권１－６ ＊点字本	韓国視覚障碍人福祉点字図書館	小説	李再信	1998
新しい鍵／새로운 열쇠：나의 행복론	韓国長老教出版	随筆	李再信	1998
続氷点／속빙점　１・２　＊映像テーマ小説 氷点／빙점 상・하	無限	小説	이원구	1998.1.1 1998.5.15
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／ 아무리 긴 터널이라도 끝은 보인다	韓国長老教出版社	日記	李恩信	1998.1.20
北国日記／일한대역문고시리즈12 북국일기	다락원	日記	다락원	1998.12.14 1999.1.10
続氷点／속 빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	1998

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
ひつじが丘／양치는 언덕	소담출판사	小説	하지원	1998. 12. 31
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 설우특선 31 생명의 샘터	雪友社	随筆	金裕坤	1999. 6. 30. 3 版 1 刷 1981. 4. 30 初版
光あるうちに／내게 강 같은 평화	떡갈나무	随筆	홍성중	1998. 12. 25 1999
忘れえぬ言葉－私の赤い手帖から／ 나의 빨간 수첩에서	自由文學	随筆	박영	1998
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 평신도를 위한 구약성서입문	大韓基督教書會	随筆	李恩信	1999. 2. 25
母／어머니	한림미디어	小説	배정숙	1999. 5. 31
雨はあした晴れるだろう／ 비는 내일이면 개이겠지	韓国長老教出版	随筆	李再信	1999. 7. 10
光あるうちに／빛이 있는 동안에	카톨릭출판사	随筆	黄必蓮	1999
北国日記／북국일기	다락원	小説	다락원 출판부	1999. 1. 10
雨はあした晴れるだろう／ 비는 내일이면 개이겠지	大韓基督教書會	随筆	李再信	1999. 7. 10
氷点／세계명작 88 빙점	大一出版社	小説	유한준	1999. 1. 10 2000. 9. 14
続氷点／속빙점	一信書籍	小説	李葉成	2000. 6. 12
光あるうちに／빛이 있는 동안에	汎友社	随筆	蘇蓮	1999. 11. 20 8 版
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	2000
海嶺上・下／홍성사 믿음의 글들 해령38상・39하	弘聖社	小説	金惠康	2000. 3. 31
氷点 上・下／빙점 상・하 続氷点／속빙점	六文社	小説	이용현	2000. 10 2001. 10
光あるうちに／설우특선03 빛이 있는 곳에서	雪友社	随筆	金允玉	2001. 2. 5
帰りこぬ風／겨울장미	文知社	小説	홍석연	2001. 11. 30

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
明日をうたう－命ある限り／미우라아야코 유작 자서전 생명이 다 할때까지 내일을 노래하리	창해	随筆	양윤옥	2000.11.5 2001.
氷点／빙점	바로북닷컴	小説	김정욱	2001
ひつじの丘／양치는 언덕	바로북닷컴	小説	서치헌	2001
ひつじの丘／양치는 언덕	雪友社	小説	金昭映	2001.2.26 再版４刷 1976.10.10 初版
北国日記／일한대역문고12 북국일기	다락원	日記	다락원	2001
雨はあした晴れるだろう／ 비는 내일이면 개이겠지	韓国長老教出版	小説	李再信	2001.11.13
続氷点／속빙점（１－７） ＊アイ・マーク（テープ録音、視覚障害者のための点字本符号）	韓國視覺障碍人聯合會	小説	정난진 ＊朗読 전지원	2001－2006 2007
海嶺 上・下／해령 상・하	弘聖社	小説	金惠康	2001.8.18
氷点 上・下／빙점 상・하 ＊映像テーマ小説	무한	小説	이원구	2001.11.29
氷点／빙점	한림문화원	小説	孟思彬	2002.
氷点 上・下／HIGH CLASS BOOK－21、22 빙점 상・하	韓国長老教出版社	小説	이용현	2002.10.31
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黃必蓮	2002.3.31
道ありき／설우특선 길은 여기에 청춘편	雪友社	随筆	이용현	2002.1.31
愛すること信ずること／사랑하며 믿으며	雪友社	随筆	崔雲傑	2002
光あるうちに／빛이 있는 곳에서	雪友社	随筆	金允玉	2002.10.31
ひつじが丘／양치는 언덕	소담출판사	小説	서치언	2002
道ありき（青春編）／길은여기에	大韓基督教書會	随筆	李鍾桓	2002
道ありき／길은 여기에	雪友社	随筆	李鍾桓	2002.1.31
氷点／BESTSELLER WORLDBOOK21 빙점　＊上・下合本	소담출판사	小説	김정욱	2002.8.31
新しい鍵／：나의 행복론：새로운 열쇠	韓国長老教出版社	随筆	李再信	2002.1.31
道ありき／길은 여기에	志成文化社	随筆	崔奉植	2002

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／아무리 긴 터널이라도 끝은 보인다	韓国長老教出版社	随筆	李恩信	2002
塩狩峠／雪嶺	雪友社	小説	김병로	2002
氷点／빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	2002.7.9
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	金允玉	2002.8.23 2版9刷 1976.10.10 初版
氷点／빙점	韓国長老教出版	小説	李再信	2003.8.10
氷点 上・下／빙점 (상) (하) ＊映像テーマ小説	무한	小説	이원구	2002.11.18 2002.11.27 2003.8.25
氷点／세계명작100선48 속빙점	일신서적공사	小説	李葉成	2003.1.1
？／사랑이 머무는 곳에	韓国長老教出版社	随筆	李再信	2003.8.20
まっかなまっかな木／빨갛고 빨간 나무	너른들	絵本	이학선	2003.6.30
道ありき／길은 여기에	홍신문화사	随筆	정성국	2003
旧約聖書入門－光と愛を求めて／설우특선9：빛과 사랑을 찾아서	雪友社	随筆	金裕坤	2003.3.5 2版4刷 1975.5.20 初版1刷
この土の器をも／감사해요 고마워요	伽藍文學社	随筆	주영하	2003.12.15 2004
銃口 上・下／총구 상・하	韓国長老教出版社	小説	李再信	2003.12.27 2004
氷点／BESTSELLER WORLDBOOK21 빙점	소담출판사	小説	김난주	2003
この土の器をも／이 질그릇에도 결혼편	志成文化社	随筆	崔奉植	2003
北国日記／미우라아야코의 북국일기	다락원	小説	다락원 編集部	2003
この土の器をも／이 질그릇에도	雪友社	随筆	金允玉	2003
光あるうちに／빛속에서	카톨릭출판사	随筆	黄必蓮	2004.9.30
氷点／빙점 1・2	눈과마음	小説	정난진	2004.11.30
ひつじが丘／BESTSELLER WORLD BOOK 43：양치는 언덕	소담	小説	서치언	2004.

原題／翻訳表題　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
人間の原点／삶에 답이 있을까	엔북	随筆	고미현	2004.1.12
ひつじが丘／양치는 언덕	청우－열린유통	小説	이두수	2004.9.15
氷点／범우비평세계문학서56－1 빙점	汎友社	小説	崔鉉	2004.2.10
続氷点／범우비평세계문학서56－2 속빙점	汎友社	小説	崔鉉	2004.2.20
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	2004.3.21
新しい鍵／새로운 열쇠	韓国長老教出版社	随筆	李再信	2004.
氷点 上・下／빙점 상・하 ＊映像テーマ小説	無限	小説	이원구	2004.
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／아무리 긴 터널이라도 끝은 보인다	韓国長老教出版社	随筆	李恩信	2004.5.21
雨はあした晴れるだろう／비는 내일이면 개이겠지	韓国長老教出版社	小説	李再信	2004.
氷点 上・下／빙점１・２ 続氷点 上・下／속빙점１.２	눈과마음	小説	정난진	2004.11.30 2005.1.1
氷点 上・下／빙점 상・하	소담출판사	小説	김정욱	2005.8.25
新しい鍵／새로운 열쇠	한국장로교출판사	随筆	李再信	2005.8.22
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／설우특선10：생명의 샘터	雪友社	随筆	金裕坤	2005.4.22 1981.4.30 初版
北国日記／북국일기	다락원	小説	일본어 출판부	2005
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	2005
続氷点／속빙점　１・２［１－７］ ＊アイ・マーク	눈과마음	小説	정난진	2005.1.10
銃口 上・下／총구 상권・하권	한국장로교출판사	小説	李再信	2005.9.30
生きること思うこと／살며 생각하며	汎友社	随筆	陳雄基	2005.8.24
塩狩峠／설령（雪嶺）	雪友社	小説	김병로	2005.12.12
氷点／빙점　＊映像テーマ小説	무한	小説	이원구	2005.12.16
続氷点／속빙점１.２［１－７］ ＊アイ・マーク：録音資料：テープ	韓國視覺障碍人聯合會눈과마음	小説	정난진 전지원 朗読	2005.9.15

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
三浦綾子に出会う本／미우라아야코를 만나는 여행 ＊（「風はいずこより」「小さな郵便車」「生きること思うこと」等の16編を部分抜粋して解説）	클릭（Click）	随筆	이윤정	2005. 10. 5
ひかりと愛といのち／ 참빛과 사랑을 찾아서	韓國長老教出版社	随筆	李恩信	2005. 1. 30 2006
ひつじが丘／양치는 언덕	소담출판사	小説	서치헌	2005. 8. 24
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 마음의 양식을 구하는 이들에게	韓國長老教出版社	随筆	李再信	2005. 10. 30
この土の器をも／감사해요 고마워요	伽藍文學社	随筆	주영하	2005. 10. 25
続氷点／속빙점	汎友社	小説	崔鉉	2005. 2006
塩狩峠／설령（雪嶺）1－7	韓國視覺障碍人福地財團	小説	정난진	2005
氷点 上・下／빙점 상・하 続氷点 上・下／속빙점 상・하	홍신문화사	小説	崔鎬	2004 2005
生きること思うこと／살며 생각하며	세화	随筆	陳雄基	2006
明日のあなたへ－愛するとは許すこと／ 아무리 긴 터널이라도 끝은 보인다	韓国長老教出版社	随筆	李恩信	2006. 1. 24
氷点 上・下／빙점 상・하	소담출판사	小説	김정옥	2006. 6. 7
続氷点／속빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	2006.
光あるうちに／빛이 있는 동안에	志成文化社	随筆	崔奉植	2006. 5. 15
明日をうたう－命ある限り／ 생명이 다할 때까지 내일을 노래하리	蒼海出版社	随筆	양윤옥	2006
氷点／빙점 ＊アイ・マーク 続氷点／속빙점１－12	韓國視覺障碍人福地財團點字圖書館	小説	崔鉉	2006 2007
続氷点／속빙점	汎友社	小説	崔鉉	2007
氷点 上・下／빙점 상・하	홍신문화	小説	崔鎬	2007.
道ありき／길은 여기에	雪友社	随筆	李鍾煥	2007. 7. 23
生きること思うこと／살며 생각하며	雪友社	小説	金允玉	2007. 4. 3 ２版６刷 1974 12. 20 初版

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
愛すること信ずること／ 사랑하며 믿으며	雪友社	随筆	崔雲傑	2007.4.3 2版4刷 1981.2.28 初版
氷点／빙점	汎友社	小説	양억관	2007
天の梯子／기도 입문서 하늘의 사닥다리	雪友社	随筆	최운걸	2007.7.14 3版1刷 1979.9.9 初版
この土の器をも／감사해요고마워요1・2	伽藍文學社	随筆	주영하	2007.6.18
道ありき／길은 여기에	志成文化社	随筆	최봉식	2007.4.20
ひつじが丘／양치는 언덕	雪友社	小説	金素影	2007.7.14
光あるうちに／빛이 있는 동안에	志成文化社	随筆	崔奉植	2007.4.30
新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신약성경이야기	志成文化社	随筆	崔正善	2008
天の梯子／기도입문서 하늘의 사닥다리	雪友社	随筆	崔雲傑	2008.2.1 4版1刷 1979.9.9 初版
氷点／빙점　1・2 続氷点／속빙점	汎友社	小説	崔鉉	2008. 2009.2010
氷点　上・下／빙점　1・2	青木出版社	小説	이정예	2009
続氷点　上・下／속빙점　1・2 ＊アイ・マーク	韓國視覺障碍人聯合會서울点字図書館	小説	정난진	2009
旧約聖書入門－光と愛を求めて／ 구약성경이야기 新約聖書入門－心の糧を求める人へ／ 신약성경이야기	志成文化社	随筆	崔正善	2009.9.5
この土の器をも／이 질그릇에도 제2부 결혼편	志成文化社	随筆	崔奉植	2009
天の梯子／이렇게 기도하라	志成文化社	随筆	朴天一	2009.3.31
続氷点／속빙점	汎友社	小説	崔鉉	2009

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
塩狩峠／설령	雪友社	小説	김병로	2009.3.16 2版9刷 1982.9.30 初版
三浦綾子100の遺言／ 미우라아야꼬가 남긴 100마디 지혜	생명의 말씀사	随筆	정미라	2010.6.20
氷点／빙점 ＊アイ・マーク：録音図書	한밭도서관	小説	崔鉉訳 이명순 朗読	2010
道ありき／길은 여기에	汎友社	随筆	陳雄基	2010.9.10. 2版13刷 1976.11.1 初版
銃口 上・下／총구 상・하	한국장로교출판사	小説	李再信	2010.4.23
ひつじが丘／양치는 언덕	소담출판사	小説	하지원	2010.11.7
氷点 上・下／빙점 ＊上・下合本電子ブック	소담출판사	小説	김정욱	2010.10.17
道ありき／길은 여기에	지성문화사	随筆	崔奉植	2011.7.15
続氷点／青木精選世界文學40 속빙점	青木社	小説	이정예	2011.2.20 2版 1976.11.1 初版
ひつじが丘／양치는 언덕	雪友社	小説	金昭映	2011.4.20 3版2刷 1976.10.10 初版
この土の器をも／이 질그릇에도	지성문화사	随筆	崔奉植	2011.7.20
光あるうちに／빛이 있는 동안에	지성문화사	随筆	崔奉植	2011.7.15 8版
道ありき／길은 여기에	弘信文化社	自伝	정성국	2011.3.20
この土の器をも／이 질그릇에도	지성문화사	随筆	崔奉植	2011.7.20
帰りこぬ風／겨울장미	文志社	小説	홍석연	2011.12.5 2版印刷 1995.1.25 初版

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
道ありき／길은 여기에	지성문화사	随筆	崔奉植	2011.7.15
氷点／홍신세계문학 002 빙점 ＊改訂版	弘信文化社	小説	崔鎬	2011.3.20
帰りこぬ風／겨울장미	文志社	小説	홍석연	2011.12.5 2版 1995.1.25 初版
続氷点／青木精選世界文學40 속빙점	青木社	小説	이정예	2011.2.20 2版 1976.11.1 初版
氷点／빙점	汎友社	小説	崔鉉	2011
ひつじが丘／양치는 언덕	雪友社	小説	金昭映	2011.4.20 3版2刷 1976.10.10 初版
氷点／青木精選世界文學39 빙점	青木社	小説	이정예	2012.1.20 2版 1990.4.10 初版
三浦綾子100の遺言／미우라아야꼬가 남긴 100마디 지혜	생명의 말씀사	随筆	정미라	2012.6.20
三浦綾子100の遺言／「빙점」의　작가 미우라아야코의 문학적 삶과 인생 내 운명의 길 위에 삶이 남긴 것들	文志社	随筆	임종삼	2012.6.30
三浦綾子100の遺言／ 미우라아야꼬가 남긴 100마디 지혜	생명의 말씀사	随筆	정미라	2012.6.20
氷点／빙점	홍신문화사	小説	崔鎬	2012.2013
生きること思うこと／살며 생각하며	범우사	随筆	진웅기	2013.11
道ありき／길은 여기에	弘信文化社	随筆	정성국	2014
続氷点／속빙점	홍신엘리트북스22	小説	崔鎬	2014.4
道ありき青春篇／길은 여기에 제1부 청춘편	지성문화	随筆	최봉식	2015.5
天の梯子／이렇게 기도하라	지성문화	随筆	박천일	2015.6
続氷点／속빙점	弘信文化社	小説	崔鎬	2015.9.1

原題／翻訳表題　　＊：敷衍説明	出版社	種類	翻訳者	出版年度
ひつじが丘／양치는 언덕	소담출판	小説	서치언	2016.9.30
この土の器をも／이 질그릇에도 제2부 결혼편	지성문화	随筆	최봉식	2017.4

４．翻訳作品の問題点

翻訳の調査に当たって以下のような様々な特徴と問題点が発見された。それらを箇条書きで示しておく。

①資料データの不備

翻訳作品のデータが、1965年から2017年まで長期に及び、その量も膨大なため、調査過程で漏れた部分があり得ることを断っておく。たとえば、古本屋では資料のデータベース等では確認できない翻訳本がしばしば発見された。つまり、図書館などで保管されずにそのまま読み捨てられたものもかなりあったと推測される。

②原題の変更

『氷点』などの主要作品以外は、原題がほとんど表記されておらず、目次や内容から原題を突き止めた場合が多かった。原題が任意に変更されているのである。また一冊の全体訳ではなく、部分的に抜粋して翻訳し、一冊としてまとめられたものも見られた。

③出版年月日の乱れ

データ上の出版年月日と実物書籍の日付が一致しない場合が多かった。たとえウェブ上で検索可能な翻訳本であっても、ウェブ上で表記された日付が実物書籍の日付としばしば異なったりする。

④訳者名・出版社名の誤記と合本

資料データ上の翻訳者名と翻訳書籍上の翻訳者名が異なるケースもあった。そうした場合は書籍上の訳者名で修正した。漢字名も同様である。また漢字表記が間違っている場合なども同様に修正した。随筆の場合は、類似した様々な原作を寄せ集めて出版されたものも多くあり、原作の題名を一つとして確定ができない場合もあった。

⑤単行本と全集

原作は単行本であるが、任意的に選集や全集としてまとめられた場合も多

かった。全集として出版されたのは全集として記したが、全集で出版された著作が題目と装幀だけが変えられ、単行本として出版されたケースも見られた。

⑥出版記録の保存

出版社の統併合が激しく、また頻繁に名前を変えているため、別名の出版社でも同一出版社というケースも見られた。要するに、同一翻訳本が出版社の名前の変更によって別の出版社名で刊行されているのである。個別出版社に対する詳細な調査が今後必要である。

５．翻訳作品の特徴と傾向

①世界文学としての評価

作品の分類と評価において、『氷点』『続氷点』『ひつじが丘』などは、「世界文学」として分類評価された。世界文学全集に三浦の作品が収録されているのである。青木社の『氷点』『続氷点』（青木精選世界文学100選）、ソダム（소담）出版社の『ひつじが丘』、汎友社の『続氷点』、一信書籍公社の『氷点』『続氷点』がそれぞれの世界文学全集や世界文学選集の中に収録されている。



青木精選世界文学100選：39빙점（氷点）40속빙점（続氷点）1990年

②連載中における翻訳出版

『氷点』が朝日新聞に連載されたのは、1964年12月９日から1965年11月14日までである。しかし、韓国では朝日新聞に連載中であったにもかかわらず、日本より先に上巻を翻訳出版している。孫玟訳『氷点（上）』が春秋閣から1965年６月10日に刊行されている。原作はまだ連載中である。翻訳の歴史上ほぼ前代未聞の出来事であったといえる。朝日新聞の連載が終わった５日後

の1965年11月19日、李時哲訳『氷点』全訳が韓國政經社から出版される。日本より早い展開である。これも翻訳史上きわめて珍しい現象であるといえる。

『氷点（上)』の訳者である孫玟は、『氷点』翻訳後記で、出版社社長の勧めで朝日新聞連載中の『氷点』を読んだと言う。内容も面白く作品性も優れていたとも述べている。当時の韓国の出版界においては、作品が面白くて優れていると判断されれば、先物投機のように、積極的に翻訳出版していた。それが的中し、『氷点（上)』(朝日新聞連載分1964年12月９日「敵」～1964年５月８日「よそおい」）は1965年７月15日の時点で４版を重ねている。もちろん朝日新聞での『氷点』はまだ連載中である。1966年には19版を重ねていることが確認できる。これに他の出版社も先を争って競争的に翻訳出版していく。じつに異様な現象である。



孫玟 春秋閣 1965年



李時哲 韓國政經社 1965年



河小苑 上智社 1965年



玄相杰 不二出版社 1967年

③日韓国交正常化と高度経済成長による出版ブーム

通称の「日韓基本条約」が結ばれたのは1965年６月22日である。日本の植民地支配への謝罪と経済援助、和解と癒しの道が盛んに議論された時期である。日韓国交正常化とは、韓国の人にとっては『氷点』のテーマである「汝の敵を愛せよ」という命題と重なる政治問題であった。前年の12月９日から連載が開始された『氷点』は、早い段階で辻口家のルリ子が殺害され、殺人

犯の娘陽子を引き取って養育する筋になっている。おのずと日韓国交正常化への道とオーバーラップされる。『氷点』が韓国で異様なほど注目を受けたのは、こうした政治的な重大な課題と心情的に重なっていたからである。日本に対する凍り付いた心の氷点が解けるかどうかが問われていたのである。日本語が読める知識人は朝日新聞で連載されている『氷点』の進行に注目していたと思われる。日本での評判が韓国にも伝わり、それが口コミで拡散する。韓国語訳『氷点（上)』が日韓基本条約が締結される10日余り前の1965年６月10日に刊行されたのは、こうした加熱した期待と焦りからであろう。その後、作品の推移はさらに注目され、爆発的な『氷点』ブームを引き起こしていくのである。

もう一つ『氷点』ブームには、日韓国交正常化と並ぶ問題として朝鮮戦争の傷跡がある。韓国は植民地期の傷跡に加え、朝鮮戦争（1950－53）というさらに大きな傷痕を抱えていた。南北戦争で300万人の犠牲者を出している。その敵である北朝鮮は依然として自己を脅かしている。「汝の敵を愛せよ」とはこうした状況にある韓国人の自己生存の切実な問題でもあった。

日韓国交正常化をきっかけに韓国は高度経済成長期を迎える。出版ブームもこれに便乗して拡大していく。商業的利益をめぐって激しい競争が生まれる。三浦文学はその恰好の対象となった。春秋閣、韓國政經社、上智社などが『ひつじが丘』『積木の箱』『塩狩峠』などの小説を重複的に、『道ありき』などの自伝随筆を競争的に出版したのもこうした時代的雰囲気と深く関係している。





「ひつじが丘」姜慧妍 韓一出版 1966年　「日韓国交正常化」関連記事 朝日新聞 1965年




「ひつじが丘」李英朝 鐘文閣 1966년　「塩狩峠」南紋 上智社 1967年

④選集と全集の出版

代表的な選集としては李英淑訳による『三浦綾子代表全集』(全６巻、光学社、1976年)、同じく李英淑訳の『三浦綾子代表全集』(隷書閣、1979年)、同じく李英淑訳『三浦綾子長編文学選集』(三星文化社、1986年）がある。しかし、この３点は表紙と出版社の名前だけを変えたほぼ同一全集である。他に李英淑による『三浦綾子代表作集』(韓国読書文化院、1981年)、『三浦綾子代表選集』(韓国出版文化公社、1983年)、『女性３代傑作選集』(全三巻、アカデミー、1984年）も出版社と対象作品を増減させた同一訳書を集めたものである。三浦綾子の人気にあやかり、出版社を変えた一種の再版の形態である。これとは別に、孟思彬訳による『氷点』『運命』『原罪』などを収録した『三浦綾子代表選集』(全７巻、良友堂、1985年）がある。さらに「信仰文学全集」に収めらるケースも見られる。李再信訳『三浦綾子信仰文学全集全10巻』(大韓基督教書会出版社、1994年）がそれである。信仰と関連する作品が全集10巻として編まれている。




三浦綾子代表全集　李英淑訳　光学社




三浦綾子長篇文学選集　李英淑訳　三星文化社

⑤点字本・録音図書・教育用教材・電子ブック本

- 点字本（視覚障碍者用）

1969年、육봉일（陸奉一）によって韓国点字図書館が設立され、韓国で点字出版文化が本格的に始まる。三浦の作品としては1983に、河小苑『氷点』(青木出版）が初めて点字本として出版された。それに続き、1997年には『夕あり朝あり』(翻訳：김수동・심소자）が、1997・1998年には『銃口』(翻訳：李再信）がそれぞれ出版された。韓国の点字出版の歴史は浅いが、その中でも三浦の作品が多数選ばれたのは注目に値する。以下の録音図書（聴覚障碍者用）も同様である。

• 録音図書（聴覚障碍者用）

聴覚障碍者用の録音図書『氷点』（翻訳：崔鉉、朗読者：이명순）が1994・2006・2007・2010年にそれぞれ刊行されている。『続氷点』（翻訳：崔鉉、朗読者：정난진）も2001～2007・2009年に録音図書として刊行された。

• 教育用教材

外国語の学習用としても翻訳出版された。『北国日記』は、1993・1998・1999・2001・2003・2005年に版を重ねて다락원（多楽苑）出版社から出版されている。『道ありき』は1993年に文化思想社で『日本文学作品翻訳集随筆』（李相麒訳）として刊行された。1995年には『日本文学作品翻訳集』（原題不明）が東明社から刊行されている。

• 電子ブック出版

映像小説としては、1995年に六文社（이용현訳）から『氷点』が出版され、無限出版社によって『氷点』と『続氷点』がそれぞれ1998年と2001～2005年に（이원구訳）出版された。

⑥宗教伝導と信仰心の証

三浦綾子の作品は、その内容から宗教伝導を目的として、宗教書籍専門出版社からも数多く出版された。とくに三浦の随筆がその対象となる。ヨハン出版社（ヨハネ出版社）、크리스챤비젼사（クリスチャン・ビジョン社）、韓国文書宣教会、카톨릭출판사（カトリック出版社）、雪友社、대한크리스트교서회（大韓キリスト教書会）、韓国長老教出版社、홍신문화사（弘信文化社）、生命의말씀社（命の言葉社）などである。これらの出版社による書籍は書店の「宗教コーナー」におもに置かれる。あるいは伝導用として配布された可能性もある。そのため、翻訳者は自己の信仰心の証として翻訳に従事した節がある。商業性を度外視した神への奉仕としての翻訳作業である。李再信、李恩信の翻訳作業がその種類のものと推測される。日本ではあまり見られない異例に属する。

⑦多様な翻訳者の出現

三浦の翻訳者としては、1965年から1970代中期にかけては孫玟、李時哲、玄相杰、姜慧妍などが活躍しており、1970年代中期から1970年代後期にかけては金允玉、李英淑などが主に活躍している。1980年代以降になると翻訳者も多様化し、翻訳出版社の数も著しく増えている。この時期の代表的な翻訳者としては、孟思彬、池芳薫、李英淑、朴璣東、李希求などがいる。1990年代から2000年初期までは李再信、李恩信の翻訳活動が目覚ましい。李再信は

自身がカトリック信者であり、三浦綾子の信仰随筆を中心に韓国長老教出版社と大韓基督教書會から出版している。また生前に三浦綾子と度々接触した翻訳者でもある。



李再信訳『銃口』他（韓国長老教出版社）



李再信訳『母』（大韓基督教書會）

⑧原題と翻訳作の題目

『氷点』の翻訳題目は『氷**卓**』、『氷點』、『빙점』など、表記の違いはあるものの、原作のままである。しかしこれはごく一部で、原題と異なる題目が多い。例えば、『積木の箱』は『運命』（姜慧姸訳、韓日出版社、1967年）に置き換えられ、『ひつじが丘』は『原罪』（孫玟訳、豊成閣、1972年）と訳されている。内容から訳者が題名を恣意的に付けているのである。とくに1980年代の初めにこうした傾向が多く見られる。一方で、一つの原題が出版社によっていくつも異なる題目として訳されるケースもある。例えば、原題『果て遠き丘』は『불새（火の鳥）』（李汎烈訳、三文社、1981年）、『살아있는목마（生きている木馬）』（池芳薫訳、造形出版社、1981年）、『얄미운여자（憎らしい女）』（陳雄基訳、한섬사、1981年）、『誘惑의 나날（誘惑の日々）』（訳者不明、四方社、1981年）などにそれぞれ翻訳されている。

⑨『氷点』誕生50周年と日韓国交正常化50周年

2014年は『氷点』が朝日新聞に連載完了して50年目に当たる。それは同時に日韓国交正常化50周年にもなる。その間、三浦綾子は1999年に没している。しかし2017年の現在においても、三浦綾子の作品は韓国で翻訳されており、日韓国交正常化とともに年輪を重ねている。日韓の橋掛けになる作家といえる。

現在、三浦綾子のほとんどの作品は韓国語で翻訳されている。一人の現代作家の作品がこれほど網羅的に翻訳されるケースは珍しいかもしれない。韓国においても三浦綾子一人だけに見られる現象である。おそらく世界の翻訳

史上から見ても稀にみる翻訳・受容の形態であるといえる。

６．今後の課題

以上、三浦綾子の韓国における翻訳状況（文章）を紹介したが、三浦綾子文学は文章翻訳でない形でも多く受容されている。映画・演劇・ドラマなどである。それに学術論文がある。その実態は稿を新たにして発表する。

［付記］本論文は金水敬氏の修士論文の一部を修正・加筆したものである。南はその指導に当たった。